

提言第7号 一般・療養病棟における非侵襲的陽圧換気（NPPV）及び
気管切開下陽圧換気（TPPV）に係る死亡事例の分析

事例5

< 事例概要 >

・ 80 歳代の患者。慢性呼吸不全で 20 年前から TPPV 管理。自発呼吸有。1 年前に療養病棟に転入。

・ セントラルモニタで経皮的動脈血酸素飽和度（以下 SpO₂）が低下し看護師が訪室、気道内の分泌物を吸引するが SpO₂ は回復せず。人工呼吸器の回路点検で、気管切開チューブ接続部の呼気側に吸気側回路が装着されており、接続し直すが呼吸状態が悪化し、死亡。死亡時画像診断（Ai） 無、解剖有。

・ 吸気回路（青色）を単回路として使用。Y ピースの呼気側（青い印）に接続されていた（~~図2~~）。

・ 生体情報モニタはパルスオキシメータを使用。